議会コンサート

2025年 2 月 12 日（水）
12:15 ～ 12:45

徳島県議会 議事堂 1階ホール

入場料 無料

※ ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください

指 揮　大井美弥子
独 唱　真鍋美恵
ピアノ　平賀理絵
合 唱　認定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会

曲目

独唱 ・ヨハン・シュトラウス2世 作曲　ワルツ「春の声」作品410
　　・瀬戸内寂聴 作詞 ／ 千原英喜 作曲　「寂庵の祈り」
合唱 ・ベートーヴェン 作曲　交響曲第9番 ニ短調 作品125合唱付き 抜粋

主催　徳島県議会・徳島県議会芸術文化振興議員連盟

出演者プロフィール

指揮

大井 美弥子　Miyako Oi

徳島大学教育学部中学校教員養成課程卒業。郡曜子、吉森章夫の各氏に声楽を師事。メールハーモニー潮、コーラス9をはじめ合唱指導者として活躍。認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会指導者。四国大学短期大学部非常勤講師。

独唱　ソプラノ

真鍋 美恵　Mie Manabe

鳴門教育大学嘱託講師。四国大学非常勤講師。認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会指導者・理事。オペラ・ユニット「ブランディーヴァ」メンバー。声楽家としての演奏活動の他、県内では徳島・鳴門・阿南・三好各地で合唱指導や後進の指導にあたっている。

ピアノ

平賀 理絵　Rie Hiraga

神戸女学院大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒、同大学大学院音楽研究科を首席で修了。徳島少年少女合唱団、鳴門アカデミー合唱団、認定NPO法人鳴門「第九」を歌う会伴奏ピアニスト。徳島市南前川町ワールドアカデミーピアノ講師。四国大学非常勤講師。

認定NPO法人 鳴門「第九」を歌う会

今から107年前、第1次世界大戦当時、鳴門市板東に俘虜収容所があり、約千人のドイツ兵が収容されていました。彼らは自らの力で、楽団や合唱団を作り、捕虜から解放されるまでの約3年間に100回以上の音楽会を開催します。また、展覧会や遠足などの催しを通じて県民との交流も深めていきました。

彼らの活動の中で最も有名なものは、1918（大正7）年6月1日に収容所内でアジア初となる「人類愛」を表現したベートーヴェン作曲交響曲第九番が合唱付きで全楽章演奏されたことです。第九を演奏した徳島オーケストラは、板東に移る前に収容されていた県議事堂を改修した徳島俘虜収容所で結成されました。その場所は現在の徳島県庁駐車場付近です。第九初演の背景には、徳島・板東両収容所の所長であった松江豊壽の捕虜に対する人道的な配慮と、おもてなしの心を持った地域住民の存在がありました。

戦争を乗り越え、織りなされた友愛の史実は、いまなお鳴門市の誇りとして受け継がれています。鳴門市では6月1日を「第九」の日と定め、毎年6月の第1日曜日に全国から仲間を募って、歓喜の交響曲を歌い続けてきました。